

市内の放射線量測定について(途中経過報告)

市では、これまでに市内を5km四方に区切り、大気中放射線量

および土壌中放射線を測定し、その結果を順次報告してきました。現在は引き続き、市民の皆さんの安全・安心の観点からより細かな測定として、全市立学校・保育園などおよび道路側溝の測定を実施しています。今回は、その途中経過を報告します。

環境保全課 224-5894



●今回報告する測定内容について

測定時期…10月11日～19日

測定場所…芳野小学校・名細保育園・スポーツパーク福原と、道路側溝など86か所

測定機器…環境放射線モニターPA-1000 Radi(シンチレーション式・堀場製作所製)

測定位置…学校・保育園・公園＝地上5cm・50cm
道路側溝など＝側溝内の汚泥表面から5cm・地上50cm

①測定結果の概要(学校等3か所)

(単位: $\mu\text{Sv/h}$)

施設名	測定か所数	地上5cm			地上50cm		
		暫定目安	平均値	測定値	暫定目安	平均値	測定値
芳野小学校	40	0.30	0.12	0.07~0.28	0.25	0.09	0.07~0.13
名細保育園	22		0.08	0.06~0.15		0.07	0.05~0.11
スポーツパーク福原	38		0.09	0.06~0.19		0.08	0.06~0.12

②測定結果の概要(道路側溝など)

(単位: $\mu\text{Sv/h}$)

測定か所数	側溝内の汚泥表面から5cm			地上50cm		
	暫定目安	平均値	測定値	暫定目安	平均値	測定値
86	0.60	0.26	0.08~ 2.05	0.25	0.10	0.07~0.18

●結果概要と対応について

①学校・保育園・公園

学校など3か所の計百地点について、国の測定などで比較的高い数値が出た雨どいの下などを中心に、詳細に測定しました。結果の概要は上表①のとおりです。

すべての地点で、市が暫定的な対応の目安として設定した数値(以下「暫定目安」)より低い値でした。芳野小学校の二地点は地上50cmの数値が周辺よりやや高かったため、念のため土砂などの除去を行いました。

②道路側溝など

ごみゼロ運動に伴う泥上げ作業を考慮し、道路側溝など八十六か所の測定を実施しました(上表②)。通常生活する地上50cmの放射線量は、暫定目安より低い値でした。

側溝内の汚泥表面から5cmでは、暫定目安より高い場所が五か所ありました。最も高い毎時2・05マイクロシーベルト(以下「 $\mu\text{Sv/h}$ 」)を計測した地点は傾斜地の下にある雨水浸透ます(四十cm×四十cm)でした。通常より多くの雨水が集まることにより、放射性物質が付着した「ちり」

などが蓄積したと考えられます。なお、周辺の側溝などを調査した結果、0・07~0・29 $\mu\text{Sv/h}$ で、高い地点は見つかりませんでした。

暫定目安より高い五か所と、近い数値が出た六か所の合計十一か所は、泥などの除去を行いました。

●市内の暫定目安について

測定結果に対する対応の基準については、国で検討中であり、現時点で決まっているものはありません。より細かな調査を開始する前に対応の目安を決める必要があると考え、暫定目安を設定しました。

■地上50cm 0・25 $\mu\text{Sv/h}$

市では、日常生活において目安とする数値を、子どもが生活する高さである地上50cmとしました。なお、地面に近い位置で活動する砂場・芝生広場は、地上5cmとしました。

暫定目安の0・25 $\mu\text{Sv/h}$ は、国際放射線防護委員会(ICRP)*1が示した一般の人が一年間に受ける放射線量の限度である年間1mSvを時間換算した0・19 $\mu\text{Sv/h}$ に、自然放射線(原発事故前の県内最大値 0・06 $\mu\text{Sv/h}$)を加えたものです。

■安全のため追加する暫定目安
学校など…地上5cm \equiv 0・30 μ Sv/h
 子どもたちが多くの時間を過ごす
 学校・保育園および公園などについて

ては、地上5cmも測定することになりました。
 暫定目安の0・30 μ Sv/hは、電
 離放射線障害防止規則*2で定める管

測定値の高かった道路側溝などの除染状況 (単位: μ Sv/h)

場所	地上50cm		側溝内の汚泥表面から5cm
	測定値	測定値	対応後
藤間・富士ヶ丘公民館脇の雨水浸透ます	0.18	2.05	0.23
小堤・ハイラーク川越敷地内の側溝ます	0.15	0.83	0.24
伊勢原町3丁目・御伊勢塚公園北側の道路側溝ます	0.13	0.79	0.15
今福・川越スカイハイツ前の道路側溝ます	0.13	0.78	0.14
諏訪町・諏訪町公園付近の道路側溝ます	0.10	0.69	0.15
今福・今福団地内の側溝(南)	0.11	0.59	0.14
今福・今福団地内の側溝(北)	0.11	0.58	0.16
霞ヶ関北5丁目・角栄団地第六児童遊園北側の道路側溝	0.15	0.58	0.15
小堤・ハイラーク川越敷地内の雨水貯留施設	0.09	0.54	0.28
藤間・藤間南地内の道路側溝	0.14	0.52	0.21
小堤・川越坂戸毛呂山線の道路側溝	0.12	0.51	0.23

*1国際放射線防護委員会(ICRP) …放射線から人や環境を守る仕組みを、専門家の立場で勧告する国際学術組織です。計画的に管理できる平常時(計画被ばく状況)には、身体的障害を起こす可能性のある被ばくは絶対にならないようにしたうえで、将来起こるかもしれないがんのリスクの増加もできるだけ低く抑えることが必要です。そのため、一般人の被ばくは年間1mSv以下としています。

*2電離放射線障害防止規則…労働安全衛生法に基づき定められた、電離放射線(一般的に「放射線」のこと)の安全基準を定めた厚生労働省令です。管理区域とは、無用な放射線被ばくを防止し、作業する人の被ばく管理を適正に行うため、他の一般区域から物理的に隔離した区域のことです。身近なところでは、レントゲン室なども管理区域になります。

理区域境界の放射線量(三か月で1・3mSv)を時間換算した0・60 μ Sv/hをより厳しくして、二分の一に相当する値としました。これは仮に毎日一時間その場所にいたとしても、ほとんど問題のない数値として設定したものです。

道路側溝など…側溝内の汚泥表面から5cm \equiv 0・60 μ Sv/h

ごみゼロ運動などで側溝の泥上げ作業を行っている自治会もあるため、市では雨水が流れる道路側溝を測定することにしました。

暫定目安の0・60 μ Sv/hは、電離放射線障害防止規則で定める管理区域境界の放射線量を時間換算したものです。これは道路側溝などの泥上げ作業を四時間行っても、ほとんど問題のない数値として設定したものです。

●結果に対する市の見解

今回の測定では、道路側溝などで比較的高い数値が出ました。しかし、通常の生活を送るうえでの目安となる地上五十cmでは問題のない数値で

した。市では日常生活に心配のない状態であると考えています。

今回の測定結果は一部分であり、まだすべての測定を終えたわけではありません。そこで、10月30日のごみゼロ運動では泥上げ作業を念のため中止するよう、自治会に連絡しました。

なお、測定値の高い場所は、測定後直ちに土砂などの除去作業を行い、対応後は暫定目安より十分低い数値になりました(上表)。

●今後の測定について

全市立学校(五十六施設)・全市立保育園など(二十二施設)・大規模公園(十六施設)の詳細な測定を、年内のできるだけ早い時期に終了するよう努めます。

測定結果の概要は、広報川越で順次お知らせします。測定結果の詳細については、市ホームページ・環境保全課(本庁舎五階)で見ることができま。また、測定した施設でも、その施設の測定結果を見ることができま。

みんなで応援!! 11月27日(日)小江戸川越マラソン2011

大会当日は午前8時から正午まで、コースおよび周辺で交通規制が行われます。ご協力をお願いします。

11月14日(月)、中央図書館・西図書館・高階図書館は休館

訂正 10月25日発行の広報川越No.1257・16ページ
 各図書館の休館日 誤 11月曜日(14日を除く) 正 11月曜日